

UK UK REPORT

@New Products

アイスペシャルC-IV / 松風 ＜デジタル口腔撮影装置＞



松風から発売のデジタル口腔撮影装置「アイスペシャルCシリーズ」に、新機能の搭載でさらにパワーアップした「アイスペシャルC-IV」が5月21日に発売されます。新しい「動画モード」の搭載や処理能力&タッチパネルの機能の向上、表徴や内部構造の観察に特化した「クロスポライズモード」等の新機能を搭載した最新機種です。

【特徴】

- 最大10分の動画撮影が可能なモードが新たに追加されたことにより、オペの記録やスタッフの教育ツールとして活用できます。
- 操作時のレスポンスや起動速度がアップし、より快適に使用できます。
- 新たに開発された交差偏光撮影用フィルター「松風クロスポライザー」(別売)により、歯牙に映り込むテカリを限りなくゼロに近づけることが可能となり、従来よりも詳細に歯牙を観察することが可能になりました。
- 診療シーンに合わせた8つの静止画撮影モードや高水準の色調再現性、画像整理の簡便性など、歯科専用開発されたデジタル口腔撮影装置です。

標準価格＝本体一式 270,000円
クロスポライザー 68,000円

TePe GOOD / クロスフィールド ＜歯ブラシ＞



これからの地球にやさしく、環境に配慮した歯ブラシ「TePe GOOD」がクロスフィールドから発売されました。再生可能なバイオベース材料を使用し、CO₂の排出を95%リサイクルさせることが可能なので、地球温暖化に深刻な影響を及ぼしている温室効果ガス排出への影響がほとんどない、環境にやさしいサステナブル(持続可能)な歯ブラシです。

【特徴】

- ハンドルは96%再生可能なサトウキビ由来のバイオベースポリエチレンから、また、フィラメントは100%再生可能なヒマシ油由来のバイオベースポリアミドからできています。
- TePe独特の台形状ブラシヘッドと持ちやすいハンドル、また毛先のラウンド加工により、効果的で快適なブラッシングが可能です。
- ヘッド形状はミニ・コンパクト・ソフト(レギュラー)の3種類。1箱25本入と、プリスターパック入りの1箱14本入りをラインナップ。

患者参考価格＝オープン価格

バルセオS / アイキャスト ＜3Dプリンティングシステム＞



アイキャストから発売された「バルセオS」(BEGO社製)は、歯科用にトータル設計された3Dプリンティングシステムです。歯科技工を熟知しているBEGO社による3Dプリンターの機器から材料までをトータルで開発することで、歯科技工の作業と特性を考慮し、均質な技工物を安定的に供給することができる最適なシステムです。

【特徴】

- 「面」で造形を行うプロジェクター投影方式(DLP方式)を採用しており、短時間で効率的な造形が可能です。
- 独自のカートリッジ方式を採用し、造形後に残った樹脂は、カートリッジに入れたままで保管が可能です。材料別にカートリッジを用意することで簡単に樹脂の交換が可能です。また、樹脂の最低必要量も1/5になり、材料のロスや劣化を最小限に抑えることができます。
- バルセオワックスは、それぞれの用途に応じて開発された材料です。材料を使い分けることで、様々な歯科技工物を作製することができます。

標準価格＝本体一式 2,380,000円
アクセサリセット 57,800円

@My Recommendation

『TMR-アクアボンド0』 ＜YAMAKIN＞



標準価格＝セット 10,500円
ボンド単品(5ml) 9,800円
ボンド2本パック 18,620円

水を味方につけたゼロ秒ボンディング!

今回ご紹介させていただきます商品は、YAMAKIN(株)より発売されております歯科用象牙質接着材『TMR-アクアボンド0』です。この商品の特長としましては、①新規リン酸モノマーM-TEG-Pの効果で湿潤状態でも安定した接着性を実現。②脱灰時間ゼロで、患者さんの負担を減らすことができ、小児歯科や訪問診療など様々なシーンで活躍。③遮光条件下で約30分後でも親油性モノマーと水の相分離がなく、接着に有効な成分を均一に塗布することができる。④歯質からシルコニア、チタン、貴金属まで幅広く接着することができる。⑤安価である。などが挙げられます。

現在、ご使用頂いている医院様からは、「液一滴の量が調整しやすく、コスト性がいい」、遮光下で30分使用可能なため、慌てて充填する必要がない。」とお声をいただいております。是非この機会に弊社営業担当者へご用命をお願い致します。

鹿児島店 営業四課 福丸 隆次

歯科医院経営を考える(500)

デンタル・マネジメント・コンサルティング
稲岡 勲

～ 歯科医院の安定規模 ～

某歯科医院の親子で3年間一緒に診療を続けてきたが上手くいかず、息子が独立して診療所を立ち上げるようになった。大都市の中心地で周囲にはマンションもあり、コンビニが撤退した後の建物を借りて開業するという。チェアー3台を始め、CT、セレック、マイクロスコープ等々機器の設備投資を含めて約8千万円、運転資金を入れると約1億円近い資金が必要だというのが、勝手に飛び出しておいて親に保証人になってくれと要請してきたという。院長が筆者に意見を聞いてきたから「院長が保証人になるべきではない。どうしても保証人が必要なら、院長の奥さんが保証人になりなさい」と回答した。独立して開業するというはそのような甘いものではないのである。もし行き詰って倒産すれば親まで倒産する危険性が出てくる。個人の歯科医院の倒産件数は余り表面化しないから分かりにくい、大都市に行くと突然看板が無くなっているケースはよく見かける。最近は特に多いように思う。決して倒産が少なくなっているわけではない。設備投資が大きくなっている分、倒産も多く出ている。コンビニの建物であれば、来院患者は多いと思うが、地域の特性によっては老人が多くなる可能性や生保の患者が多く来院する可能性もある。その地域の特性をいろんな情報から入手しておく必要がある。例えば年齢構成等から、近くの商店街での商品の種類や価格動向、衣服等から近くの住民の所得階層、生活習慣等々集めるべき情報は多種多様である。その上で自分の診療方針を立て、それを確実に実践することが重要である。しかもスタッフの採用は容易に達成できても、院長の対応次第では簡単に退職するものも都心部での採用事情である。スタッフ教育も徹底して実施するべきである。今後の歯科医院経営の環境を考えると競争環境は益々厳しくなると思う。厚労省の医療施設調査によれば、平成24年の歯科医院数は、医療法人が11,481院、個人が56,378院である。それから5年後の平成29年の最新の統計によれば、医療法人が13,371院、個人が54,133院で、医療法人が2,390院増加し、個人は2,245院の減少となっている。勿論高齢化による廃業もあるから単純に比較はできないが、法人が増加していることは確実である。それは経営規模が大きく膨らんできている証拠であり、ドクターが2人以上いないと経営が安定維持ができないという証明である。

(つづく)

※玉手ニュース 2019年 5月号より転載。

New Books & Video

★今週の新刊

HYORONブックレット

『安全に、そして上手に行う難抜歯』

～患者の全身状態の術前評価と埋伏歯・残根の抜歯のポイント～



上下顎の埋伏智歯をはじめ、残根や根肥大歯、根湾曲歯、骨性癒着歯など日常臨床で行うことの多い難抜歯術について、術前に必要な診査・診断、合併症・偶発症に対する注意点、そして抜歯の手術手技など、安全に施術するために必要な知識とテクニックのポイントをエキスパートが詳しく解説した一冊。

- 著 = 菅野 貴浩 / 助川信太郎 / 古木 良彦
- 出版 = ヒョーロン・パブリッシャーズ
- 価格 = 4,800円 + 税

『Q&Aでわかる ノンメタルクラスプデンチャー』

～できること、できないこと～



Q&A形式で設計のポイントや調整法など、ノンメタルクラスプデンチャーの効果的な使い方を紹介した一冊。長期経過症例も示し、「どうすれば長持ちするのか」「こういった症例には適さないか」までを解説。自信を持ってノンメタルクラスプデンチャーを患者さんに提案できる書。

- 編著 = 大久保 力廣
- 出版 = ヒョーロン・パブリッシャーズ
- 価格 = 8,500円 + 税